

図書館だより

ノートルダム学院小学校

秋の夜長に読書！

2017.10.02（月）

No.6



10月後期がスタートしました。日中でも涼しくなることが多くなり、過ごしやすい気候になってきました。

海外では、1年に「夏と冬だけ」や、「年中季節が一定している」国があります。それがその国の特性となります。日本では「春・夏・秋・冬」の四季がはっきりしています。外に出てみれば、咲いている草花や落ち葉の色合いから、季節を実感することができます。有り難いですね。夏と冬をまたぐ「秋」。みなさんも、この季節を肌で感じてみてください。

秋は読書に最適のシーズンです。べつに、読書は決まった季節にするものではなく、年中するものですが、特に秋の夜長に読書するのは良いものです。また、この季節は過ごしやすく、何事にも集中できます。季節や気候と読書の関係に改めて気づきますね。



読書の秋・読書週間 本を読もう

毎日図書館に来ている人はもう知っているよね。最近、図書館に連日新しい本が並べられています。みんなが好きそうな読みやすい文庫本が増えています。名作といわれる『ND 読書 100 選』から本を選んで、『じぶんだけのとしょかん』にいっぱいシールをはるのは良いことですね。ときには新しく入った読みやすい書物を読んでみるのも楽しいものです。どんな本が入ったかは、図書館に来て見てください。



この本読もう

「自分中心の考え方を抜け切っているという人は、
広い世の中にも、実にまれなのだ。」

『君たちはどう生きるか 吉野 源三郎』より

この本の原著は、80年近く前に書かれました。描写に古い場面も多いですが、現在でも十分読むに値する作品だと思います。現代でも通用する価値観が、ぎゅぎゅつとつまっています。それが、このたび半分コミックで出版されました。先生は、『「読むべき本」と出会えた』と思いました。



コペルくんの成長とともに「どう生きるべきか」が我々に問いかけられています。コペル少年に向けた叔父さんの手紙には優しさと厳しさ、そして子供を導こうとする大人の愛情に溢れています。2冊購入しました。高学年の人に読んでもらいたい本です。